

経営比較分析表（平成28年度決算）

岩手県奥州市 奥州市国民健康保険まごころ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7			救 護
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
120,099	3,705	第2種該当	10:1	

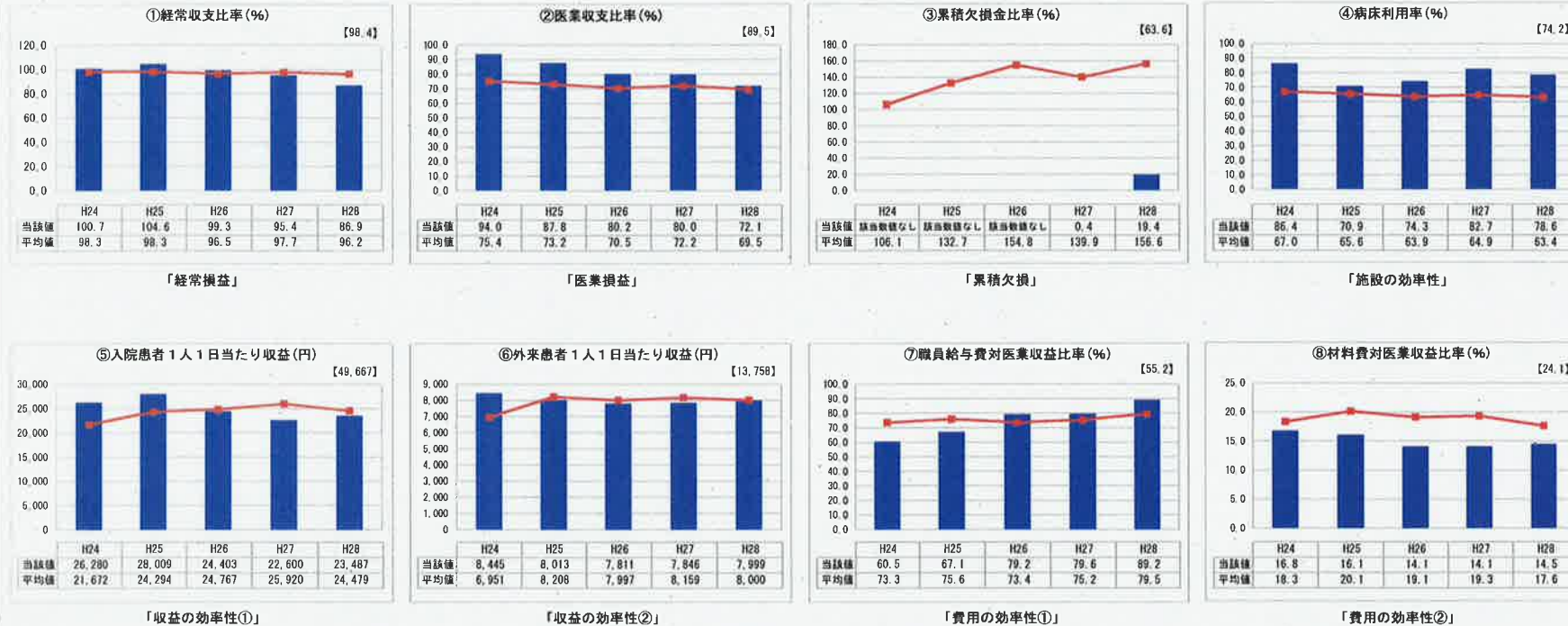
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

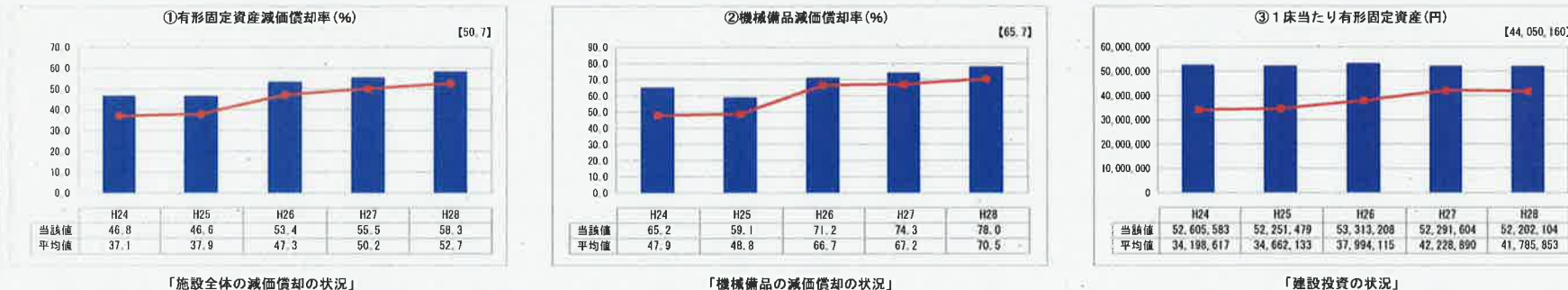
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
48	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	48
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
48	-	48

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

I 地域において担っている役割

胆沢地域における唯一の病院として、地域住民が住み慣れた環境の中で、安心して生活できるよう、健康の維持増進に取り組んでいます。また、救急告示病院として事故や急病などの緊急時の受入を行うなど地域医療に貢献しています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者数の減少及び職員数の増加等に伴い、経常収支比率、医業収支比率ともに減少傾向にあるほか、職員給与費対医業収益比率は増加傾向にあります。

また、平成26年度から経常収支比率が100%を割り赤字基調となったことから、累積欠損金が年々増加しており経営の健全化が必要となっています。

2. 老朽化の状況について

築後20年以上が経過し、施設の老朽化が著しく改修が必要となっています。また、更新時期を経過した高額医療機器等もあり、対応が必要となっています。

全体総括

患者数の減少に伴う収入減に加え、老朽化した施設及び医療機器の改修・更新など経費的負担も多く、経営は一層厳しさを増す状況にあります。胆沢地域における唯一の病院としての役割を果たすため、平成30年10月から地域包括ケア病床を導入するなど、経営改善に積極的に取り組んでいます。